

予算特別委員会の審査

平成19年度の各会計補正予算及び平成20年度の各会計予算を審査するため、予算特別委員会を設置し、5日間にわたり審査が行われました。採決の結果、全議案とも原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

補正予算

質疑 伊香保温泉再生事業

の繰越明許費の用途は。

答弁 19年度分の9工事が繰り越しとなります。

質疑 出産祝金の増額、渋川市在住6カ月以内の人への支給はできないか。

答弁 財政負担を考え現在の金額、条件としています。

質疑 勤労者生活資金の19年度利用者数は。

答弁 9月までの上半期で10件となっています。

質疑 19年度の臨海学校は中止となったが20年度はどうなるのか。

答弁 20年度も休止が決定しており、各学校で代替案を検討する予定です。

質疑 小中学校教育活動支援員の評価が高い。年間を

通して配置できないか。

答弁 効果は上がっていますが、予算的に難しい。

新年度予算

歳入関係

質疑 財政調整基金を多く取り崩した予算だが、市の考え方は。

答弁 厳しい財政状況ですが、適正額といわれている予算規模の10%程度をキープしていきたい。

質疑 20年度の市税の収納率の目標は。

答弁 18年度の収納率は、90・7%でしたが、全国平均値の92・7%に近づけたい。

質疑 道路特定財源の暫定分が廃止になった場合の影響額は。

答弁 4億円程度の減額に

なります。

質疑 市営住宅入居者の滞納者数は。

答弁 家賃で145人、駐車場使用料で44人、下水道使用料で63人います。

総務費

質疑 市民会館自主事業は赤字が多くなっているが。

答弁 歌謡コンサート等は赤字が大きいが、できるだけ住民の要望の多い文化事業を検討していきたい。



伊香保町内を走るタウンバス

質疑 伊香保町のタウンバス運行に音楽を流しては。

答弁 新年度に実施を計画しています。

質疑 赤城総合支所の郵便料が他支所より多いが。

答弁 実績を勘案しており、19年度よりは30万円ほど減額となっています。

質疑 町名表示実施事業はどのくらい進んでいるのか。

答弁 各町内の境界の確認作業を終えたところです。

民生費

質疑 子供医療費助成で入院が中学3年生までは評価

できる。通院も中学3年生までにしたら経費はどのくらい増額となるか。

答弁 実施するには県と市町村との協議が必要ですが、仮に実施するとしたら、市の財源負担増は8000万円程度と考えられます。

質疑 産前産後訪問事業はこのNPO法人を考えているのか。

答弁 現在検討中ですが、6月頃からスタートしたい。

質疑 学童保育所の定数は40人くらいが適正と県が方針を出したが、超過しているところの対応は。

答弁 超過しているところは、今後保護者会と協議して対応したい。

質疑 特別養護老人ホーム

清流の郷の指定管理料を2000万円計上しているが。

答弁 不測の事態に対応するためにこの予算額としたが、永光会とは1500万円での契約を前提に進めています。

質疑 保育所駐車場整備で整備する場所と駐車台数は。

答弁 第二保育所が10台、第四保育所が15台で、いずれも民地を借ります。

衛生費

質疑 妊婦無料健診が新年度から5回となるが具体的な内容は。また、悩み事等を電話で相談できないのか。

答弁 5回の無料健診は妊娠8週、20週、24週、30週、36週の各前後に県の医師会への委託で実施します。電話や窓口での子育て相談等は毎日行っています。

質疑 がん対策事業の効果と今後の対応は。

答弁 現在、市の受診率は平均20%程度ですが、50%を目標としています。新年度にスタートする特定健診とがん検診を一緒に受けられるようにしていきます。

質疑 不妊治療費助成は自己負担の2分の1、上限5万円

質疑 2年間として10万円、3年間として10万円もあるが。

答弁 初めての事業なので2年間としましたが、限度額を含め今後検討していきたい。

質疑 新規に7カ所で廃食用油を回収とのことだが、さらに回収場所を増やす考えは。

答弁 廃食用油を再利用した燃料を使用できる車の台数に限りがあるので、当面7カ所と考えています。

農林水産業費
質疑 田舎ん家利用促進事業の空き家調査はどの様に実施するのか。

答弁 地域の農業協力員、農業委員さん等に調査をお願いしていきたい。

質疑 菜の花エコプロジェクトを子持地区だけでなく、市全域の遊休農地、耕作放棄地等に展開できないか。

答弁 全市的に取り組んでいきますが、今後どこまでできるか検討していきます。

商工費

質疑 元気な中心市街地賑わい創造事業に、高崎経済大学の協力を得ているが、どのような形で進めていくのか。

答弁 大学生の考えを参考にしながら市民の立場で考えていきます。

質疑 スカイテルメ、ユーロピア赤城の料金もほかの市内温泉と統一して2時間枠の設定ができないか。

答弁 時間、料金等の統一を検討してきましたが、規模、機能等を整理した結果、現在のようになっています。



子持地区の菜の花畑

に多額な投資をしている。先行投資としてやむを得ないが、もつと誘客に力を入れてほしい。

答弁 伊香保温泉活性化の取り組みは渋川市全体の事業という認識で進めており、今後も必死になつて誘客に努めていきます。

質疑 現在工事中の(仮称)辰巳町有馬線道路改良の供用開始はいつになるのか。

答弁 平成22年を予定しています。

質疑 都市計画区域再編等調査事業をどう進めるか。

答弁 20年度は既存区域の見直しも含め、小野上、赤城地域の区域拡大の必要性を検討します。

教育費

質疑 小中学校普通教室扇風機設置事業で20年度に設置する普通教室と特別教室の状況は。

答弁 普通教室は小学校44教室、中学校21教室、特別教室は小中学校で9教室に設置します。

質疑 現渋川公民館は今後どうなるのか。

答弁 19年度に実施した強度診断では、移転する場合は新築扱いとなり建築基準法に適合しない。文化財扱いならば除外申請できますが、厳しい審査があります。

質疑 旧南雲幼稚園はどうなるのか。

答弁 土地所有者との契約は建物譲渡となつていますが、アスベストが使用されているので解体せざるを得ません。

質疑 市街地彫刻設置で新町5差路から南に設置する3体はどのようなものか。

答弁 桑原巨守氏の作品で「花と太陽」をテーマにしたものを設置する考えです。

質疑 赤城マレットゴルフ場の利用者が増加しているが、増設計画は。

答弁 現在27ホールですが、9ホール増設のため芝を養生中です。

国保関係
質疑 特定健診、特定保健指導が導入されるが、集団健診時では受診率向上は難しいのではないか。

答弁 今までは37%程度で

したが、20年度は45%を目標としたい。受診率向上のため7月までの健診期間を11月まで延長し、約7カ月に拡大します。

質疑 特定健診の1人当たりの費用は。

答弁 個別健診で6300円、集団健診で5250円を予定しています。

後期高齢者医療関係
質疑 後期高齢者医療の対象者数は。保険料を滞納したらどうなるのか。

答弁 1万1626人を見込んでいます。滞納を1年間続けると保険証は返還で、資格証明書が交付されます。

介護保険関係
質疑 施設入所待機者数は。

答弁 19年5月の調査で325人です。

質疑 地域包括支援センターは高齢者虐待、処遇困難、総合相談などの業務に当たるべきで、介護予防プランの作成は重荷になるのでは。

答弁 制度的には委託も可能ですが、介護予防プランは包括の業務と位置付けられています。